

アッラーの使徒の家

預言者ムハンマド様(祝福と平安あれ)は、レンガとナツメヤシの葉で Masjid の側に家を建てました。家には二つの扉があり、一つは西側、もう一つは北側にありました。ドアをノックする物はなく、手でノックされるものでした。



アッラーの使徒の家具

アッラーの使徒(祝福と平安あれ)の家には、貧しい信仰者たちの家にあるような家具しかありませんでした。歴史が語るところによれば、キリスト教徒でアラブの族長のひとりであったアディー・イブヌ・ハーティムがマディーナに来た時、預言者は彼を家に迎え入れました。しかし、預言者は客人が座るために差し出す物が見当たらず、藁で作られた枕を与え、アッラーの使徒自身は敷物なしに床に座りました。



緑のドーム

アッラーの使徒のお墓には、幾世代に渡って保護のために作られていった、いくつかの柵や扉などで囲まれています。その真上には1279年に建てられた緑のドームがあります。当初は青色でしたが、1873年に緑色の今の形に変わりました。



預言者 Masjid を上空から見てみましょう

教友アブーバクル・スィッディークのお墓(アッラーが彼にご満悦されますように)

アッラーの使徒のお墓(彼に祝福と平安がありますように)



ここに眠っている

イスラームの使徒アブドゥッラーの息子ムハンマド(祝福と平安あれ)はここに眠っています。西暦632年の8月6日、妻のアーイシャ(ご満悦あれ)の胸に寄りかかった状態で、「最高の同伴者のもとへ」と言いつつ息を引き取りました。亡くなった場所、つまり彼の家に埋葬されました。それから、彼のそばには選りすぐりの教友で第一代カリフのアブーバクルと第二代カリフのウマルも後に埋葬されました。(彼ら二人にアッラーがご満悦しますように)ムスリムたちは、預言者 Masjid を訪問すると、使徒に挨拶をします。



預言者 Masjid を上空から見てみましょう